

平成23年度 第2回 別府市立図書館協議会 会議録(要約)

【日 時】 平成24年2月23日(木) 午前10時～午前11時30分

【場 所】 別府市役所4F - 3会議室

【出席者】

<委員> 土岐 修会長、佐藤慶子副会長、甲斐由信委員、穂吉文博委員
大林みどり委員、立川敬子委員、石井保廣委員

<事務局> 寺岡教育長(あいさつ後退席)、本田生涯学習課長(以下生涯学習課)
溝部参事、河村課長補佐、柏木課長補佐、中尾図書館長、谷中主査補

【欠席者】 高橋伸子委員

開会あいさつ等(事務局の出席委員確認後開会)

(会長あいさつ:土岐会長)

おはようございます。実はこの会は秋に開こうという約束で1回目散会したのですが、いろいろ事情がありまして遅れて本日になってしまいました。この間の経緯について少し説明をさせていただきたいと思います。

私はこの会の会長として2期目になりますが、図書館の課題については館長それから職員の方々が限られたスペースの中で工夫をしながら頑張ってもらっているわけですが、どんなに考えても極端に言えば大した変化はない。簡単に言いますとハード面で、改めてどこかスペースを広げられないかとか駐車場にしてもどこか近くに少しでも確保していくとか何か出口が見えないと思っています。そのことについて市や教育委員会の方と具体的に実現性のあることが何かという話し合いを館長、教育委員会の寺岡教育長、本田生涯学習課長、補佐を交え何回か話し合いを進めてきたわけです。また、そのようなものがないとお忙しい中出席していただく委員の皆様にも会議をすすめるのは失礼ではないかとの気持ちもしながら今日の会議になりました。その内容等については、この後教育長、本田課長のほうから少し説明があるかと思っています。出口はあくまでの何年先になるかはわかりませんが新しい図書館をつくっていこうという方向で今のものが市民にとって使いやすいものになれるようにこの協議会で皆様の意見をいただいて活かしていくのがベストではないかと思っています。よろしくお願ひします。

(教育長あいさつ:寺岡教育長)

おはようございます。本日は皆様方には年度末の何かとお忙しい中「第2回目の別府市立図書館協議会」に出席いただき大変ありがとうございます。図書館につきましては、土岐会長様のお話しにあったように出口が見えないかのような状況にあります。図書館につきましては「将来の子どもたちや別府のためにも極めて重要である知の拠点となる施設であり、市民生活にとっても重要である」と思っており、充実強化が肝要である」と思っています。ご承知の通り国・地方を通じて大変厳しい財政状況であるということで皆様の期待に十分お応えできないことは申し訳なく思っているところでございます。

しかしながら、この数年間、協議会委員の皆様を始め多くの方からのご指摘やらご

支持もございまして少しずつではありますが前に向かって動き出すのではないかとの感触も持っているところでございます。

大変厳しい財政状況ではありますが、小さな一歩を大切にしながら着実に良い方向に向かっていきたいと思っていますので最善の努力を傾注していくつもりでございますので協議会委員の皆様には今後とも別府市立図書館の運営サービスの向上にご助言、ご協力を賜りますようお願いしまして私のあいさつとさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

<寺岡教育長他の公務出席のため退席>

【報告第1号：平成24年度の市立図書館について】

(本田生涯学習課長)

平成24年度の図書館についてでございますが、ソフトの面は後ほど中尾館長から説明がありますので私のほうからハード面、図書館が抱えているハード面の課題についての平成24年度予算について説明させていただきます。図書館が抱えているハード面での課題で1点目、蔵書のスペース、部屋のスペースが少ないということ、後駐車場の関係でございます。まず、スペースでございますが、図書館が入っているビル全体が3月末をもちまして信託期間が満了しまして施設が市の方に返ってまいります。これを機に行政棟のスペースの見直しをさせていただきたいという事で市長部局と調整をしておりました。3階部分につきましては教育委員会所管のサザンクロスですので、一部を既に図書館に占有させているという状況でございます。1階部分、南部出張所が入っていますが、その部分をどの程度図書館で占有できるのか、それと2階の現状の図書館のレイアウトを変更することができるのか、スペースを効率的に活用するという事でどう転用出来るのかという事で専門家の方に診断していただいた上で改善案の検討をお願いしたいという事でその関係の委託料を平成24年度当初予算をお願いしている所でございます。3月の定例会で議決をいただきましたら改修の基本計画というものを策定していただきたいという作業に入りたいと考えています。それと、今、基本計画と申しましたが、こういう計画、レイアウトで図書館のサービス向上が図れますよと言うだけではなく、こういう変更をするなら概算ですが、このくらいの経費がかかりますよということまで委託の中でお願いしたいと思っています。

それから2点目の駐車場の件でございますが、駐車場の確保、これは随分以前から問題となっていて、私どもも大変苦慮しているところでございます。ご承知の通り図書館周辺の千代町では民間の駐車場がかなり点在しています。私どもも民間の駐車場の借り上げを視野に昨年の秋口ごろから駐車場の空き状況等を調査してまいりましたがなかなか空きこまがないのが状況でございました。民間の駐車場を借り上げ以外では、用地の取得ということになるのですが、図書館像というものがいま一つはっきりしない段階で駐車場の用地取得だけを前面に出すことはなかなか難しいという面もございましたので市長部局との協議の結果、駐車所の借り上げを一定程度、10台以上になりますが、年間借りられるだけの予算については、今、お願いをしているところでございます。

また、これは直接ハード面ではございませんが、図書購入費につきましては、平年

ベースで財政当局にお願いしておりますので、今まで通りのペースで購入が可能になっていくのではなかろうかと考えているところでございます。私のほうからの報告は以上でございます。

(土岐会長)

ありがとうございました。詳細につきましては本日議案等が提案されていくという話もありましたので、今の時点で金額的なところまでは難しいかもわかりませんが、質問がありましたらお願いします。

(佐藤委員)

改修等の委託に入るのには図書館というものは特殊なものなので専門家に依頼して欲しい。もう一つは駐車場ですが、児童館の隣が駐車場になっている、どうだろうかまた、大分銀行の駐車場はどうですか

(本田生涯学習課長)

1点目の専門家の件ですがその道の方と言いますかそこらあたりを十分配慮した上でもっていきたいと考えています。駐車場の件ですが、図書館のそばに三田川産業があるわけですが、問い合わせをしましたが空きがございませんでした。また、3月に入って年度替わりとなりますのでもう一度周辺調査をしたいと思っています。大分銀行につきましては支店長と話をする機会がありましたら、どういう形で協力を得ることができるのか私のほうから話してみたいと思っています。

(立川委員)

駐車場の件ですが、私もよく大分銀行を利用しているのですが、図書館を利用していることを考えれば苦にならないのですが、例えばワンコインバスを走らせることができれば、民間バスとの提携で出来れば、車だけにたよらず、今、エコと言われてますし、そのようなことができればと思うのですが

(本田生涯学習課長)

亀の井バスさんが現在、永石通りを走っています。秋葉通りが拡幅する前からの路線ですけど、私どもも一度亀の井バスへお話しをさせていただきました。亀の井バスの方が乗降調査をして社内で検討してみたいとお話しをいただきましたが、やはり永石温泉の上であるとか御幸橋のところですかお客さまが多いとのことで、それならせめて何本かだけでも秋葉通りの方に走らせてもらうわけにはいかないでしょうかと話をさせてもらった経緯はあるのですが、事業者さんの方が決めるものですから。しかし協議会の方でこのような話があったということで再度私のほうから話してみます。

先程の大分銀行の件ですが、まず大分銀行の方が使うのが一義でありましようからどういう状態にあるのか機会があれば聞いてみたいと思っています。

(土岐会長)

スペースの方は専門家へ頼む。駐車場の方は、ここに何台、ここに何台となっても

困るので一定程度まとまった所をかりていくという形が良いと考えますのでそこらあたりをお願いします。また、バスの方も図書館を廻っていけるようなことを役所の方で検討をお願いします。

(石井委員)

駐車場については民間の話が出ているが、図書館と民間で相互メリットがあるように協力した感じでやっていくことはできないか。また、もう一つは図書館にこれない人のサービス、アウトリーチサービスを充実していく事が出来るようにしていくことで解決していくものもあると思う。

【議第1号 平成23年度の市立図書館の運営について】

(事務局)

議案P1、資料P1～12を活用しながら実績(見込み)等について説明

(甲斐委員)

館長以下頑張っている。社会見学については、私の学校は入ってなく恥じ入るばかりである。反省して今後いっしょに頑張っていきたい。

(立川委員)

スペース確保では児童関係のスペースや蔵書をとと思うのだが、どのような状況になるのか

(中尾館長)

今度の増床には狙いの1つは蔵書スペースで蔵書については選書基準・廃棄基準でどのような図書館にするかの根本的なものであり、今、司書が検討をしております。郷土資料については一定程度3階の部分で保存できますが、1階部分につきましては、あまりに蔵書スペースのみの確保と考えると図書館としてどうなのかとの思いもありますので、そこら辺りは専門家や利用者の意見をすりあわせながらと考えています。

(土岐会長)

スペースは限られているが、だっ広いより整然とされていれば良いのではないかと。私としては歴史資料につきましては、片手間に置いていると形ではなく、将来的には歴史資料館のようなもので子どもたちが手にとれるようになって欲しいなと思っています。

(佐藤委員)

本は見直していかないといけないので廃棄基準をしっかりとってやっていかないといけないと思う。

(立川委員)

県立図書館の本を市立図書館で借りられることを知らないお母さん方も多い。そのような PR はどうなっていますか

(中尾館長)

図書館は公立図書館のどこからも借りられのが前提であり、そこらあたりは積極的に PR していきたいと思います。

(土岐会長)

それでは議第 1 号平成 23 年度の市立図書館運営については事務局の提案通りで異議ありませんか。それでは原案通りと致します。

【議第 2 号 平成 24 年度の市立図書館の運営について】

(事務局)

議案 P4・5 及び資料 P12～P16 をつかいながら説明

(佐藤委員)

正規の司書の職員の件はどうなっていますか

(中尾館長)

課長を通じて人事当局にお願いしています。感触としては良いものがありますが、人事の事ですからふたを開けてみないと分からない面もあります。

(大林委員)

図書館の方が大変努力していただいていたうれしいと思いました。このあいだ図書館に行った時もすごく大勢の人がいました。後は、駐車場の問題を何とかお願いしたいと思います。

(甲斐委員)

「図書館の愛好者を増やす」という項目では、移動図書館車の中にも児童コーナーを作るとか、児童だけでなくよいのですが、そのようなものを設けて展示するのも良いかなと思います。また、「学校その他の連携」という面からみると予算の関係もあるけど公開シンポのようなものが出来ると良いのかなとも思います。

(中尾館長)

司書とも話しながら検討させていただきたいと思います。

(立川委員)

県立図書館の評議員でもあるのだが、今まで別府市というと恥ずかしいくらいであったが、いろんな取組をされており胸を張ってられる、頑張ってください。後、旅行者等いるのでそこらあたりも取り組んでいただきたい。

(中尾館長)

将来的には電子書籍の導入により解決するのではと思う。旅館が借主になってくれることで可能だが、旅行者では市民の財産である資料の返却という現実課題がありますが将来的には貸せるようにもっていきたい。

(石井委員)

他館との関係では、横断検索で全てチェック出来る。そこらあたりのピーアールも必要。職員研修ではグループ分けとの話も出ていたが他館の見学をさせる機会をつくる必要もある。連携の中では小中学校・幼稚園と書いているが大学との連携も必要。

大分市では貸出は条例事項で、大分市以外では由布市住民となっているのでなかなか難しいとの話もあるが、お互い互惠精神でやれると良いのだが

(中尾館長)

大分市の話が出ましたが、大分市の図書館でも別府市民が借りたいという事もあるかと思えますのでうちの図書館規則が改正になった後には大分市の館長さんをお願いにいきたいと思えます。

(土岐会長)

外にないようですから 24 年度の図書館運営については事務局提案通りでよろしいですか。原案通りとします。

【議題 3 号 その他】

(事務局)

議案 P 6、別紙図書館条例新旧対照表により説明。

(土岐会長)

大きく3点があげられますが1点は本協議会のスケジュール(案)2点目は運営の指針となる図書館の目指すべき方向とサービスについてたたき台を出す 3点目はスペースの有効活用と移動図書館の開催な所等も協議したいとのことですがそれで良いですか

(事務局)

そうです。

(土岐会長)

特に質問もないようですので原案通りとします。
以上で今回の協議会を終了いたします。ありがとうございました。